別記様式12号

時津警察署協議会第３回会議議事概要

日　　時	令和３年10月29日（金）14時00分～15時20分
場　　所	時津警察署講堂
出　席　者	１　協議会 原田会長　田口委員　太田尾委員　小林委員　辻川委員 濵添委員　糸屋委員　福田委員　　大場委員 ２　警察署 黒岩署長　原野副署長　野村警務課長　川島生活安全課長 松尾交通課長 ３　書　記 警務係長
会議の状況	１　前回会議での協議会の意見に対する推進状況について (1)「街頭活動による交通指導取締りの強化」について ア　街頭活動の実施 主要交差点や小学校の通学路において、夜間検問及び街頭監視を実施した。 イ　交通指導取締りの実施 主要交差点及び事故多発箇所において、交通指導取締りを実施した。 (2)「特殊詐欺被害防止対策の推進」について ア　特殊詐欺被害の未然防止 特殊詐欺被害を未然に防止した企業及び郵便局に対して、署長感謝状を贈呈した。 イ　広報啓発活動の強化 (ｱ) 劇団員による寸劇 ８月７日、時津町で開催された「時津町安全・安心まちづくり町民大会」において、当署劇団「継石ボーイズ」による特殊詐欺被害防止寸劇を実施した。 (ｲ) 広報チラシの作成及び配布 特殊詐欺の具体的な手口を記載した広報チラシを作成し、巡回連絡及び各地区の民生委員を通じて高齢者に配布した。 (ｳ) 特殊詐欺被害防止広報ネットワークの構築 高齢者被害の特殊詐欺の被害防止を図るため、長与町と特殊詐欺被害防止広報ネットワークを構築して、高齢者に対する情報提供を実施した。 (ｴ)「安心メール・キャッチくん」を活用した広報 長崎県警察が事件・事故の発生状況を効果的に広報するために運用している「安心メール・キャッチくん」を活用して、特殊詐欺の不審電話の情報を発信した。 (ｵ) 地域安全サポーターによる広報 ８月15日、防犯ボランティア団体である地域安全サポーターにより年金支給日における広報活動を実施した。

(ｶ) 自動録音機を活用した被害防止対策
当署で特殊詐欺被害防止資機材として管理・運用している自動録音機の広報及び貸出を実施した。

2　令和３年７月から９月までの業務推進結果について
署長から、次のとおり説明があった。
(1) 犯罪の起きにくい社会づくりの推進
ア　少年の非行防止・犯罪被害防止・見守り活動の推進
(ｱ) 期間中の検挙補導状況
(ｲ) 少年の福祉を害する犯罪検挙
A　児童ポルノ法違反被疑者の検挙
B　少年保護育成条例違反（みだらな性行為)被疑者の検挙
(ｳ) 街頭補導活動
イ　犯罪被害防止
(ｱ) 不審者対応訓練
(ｲ) 声掛け事案の認知状況
ウ　見守り活動の強化
(ｱ) 登下校警戒
(ｲ) 健全育成活動
エ　学校などの関係機関との連携
(2) 地域安全活動の推進
ア　地域住民の安全・安心に資する活動の強化
○　不審者情報への対応
イ　精霊流し等における雑踏警備
(3) 犯罪検挙活動の強化
○　窃盗事件をはじめとした各種犯罪検挙活動の強化
ア　刑法犯認知・検挙状況
イ　主な検挙事例
(ｱ) 窃盗（万引き）事件被疑者の検挙
(ｲ) 私電磁的記録不正作出・同供用及び電子計算機使用詐欺事件被疑者の暴力団幹部の検挙
(ｲ) 傷害事件被疑者の検挙
(4) 交通事故防止対策の推進
ア　高齢者の交通安全防止対策の推進
イ　各期における交通安全運動の推進
(ｱ) 夏の交通安全週間
A　夏の交通安全週間中の交通事故発生状況
B　交通安全週間における交通講話
(ｲ) 秋の全国交通安全運動
A　秋の全国交通安全運動中の交通事故発生状況
B　高齢者の安全確保活動
C　小学校の通学路点検
(ｳ) 小学校の通学路点検
A　関係機関との合同点検
B　通学路の安全確保
(5) 梅雨期末期及び台風到来期に向けた災害対策の推進
○　災害発生時における迅速・的確な対応
ア　当署の災害発生状況

	イ　広報啓発活動の推進 ウ　災害装備資機材の習熟訓練 ３　業務重点推進計画について (1) 犯罪の起きにくい社会づくりの推進 ○　各種犯罪抑止対策の推進 (2) 街頭活動の推進 ○　効果的な立番、警ら活動の実施による地域住民の安全と平穏の確保 (3) 犯罪検挙活動の推進 ○　各種犯罪検挙活動の推進 (4) 年末に向けた交通事故防止対策の推進 ア　広報啓発活動の推進 イ　年末の交通安全県民運動の推進 (5) テロ対策の推進 ア　官民一体となったテロ対策の推進 イ　広報啓発活動の推進
提　出　意　見	○　年末に向けた飲酒運転などの交通指導取締りの強化について 年末に向けて帰省者が増加し、飲酒の機会が増えることになるため、重大事故につながるおそれのある飲酒運転等の交通違反の交通指導取締りを強化して欲しい。